

令和 7 年（2025 年）9 月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（４日目）

令和7年9月18日(木)

※1人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	大 山 盛 嗣 (れいわ那覇ぬちぐる)	1 観光施策について 2 交通政策について 3 中小企業の支援について	(1) 沖縄観光コンベンションビューローの調査によるとZ世代の旅行者のうち 55.6%は運転免許を持っておらず、62.9%が「運転したくない」と回答している。本市の見解と対応を伺う (2) 那覇ハーリーの会場変更による競技の公平性・安全性、集客、観光などへの影響を伺う (1) 沖縄の交通渋滞は深刻な状況で経済損失は1,500億円と言われている。本市が今までに行ってきた対策とその効果を問う (2) 交通需要マネジメント(TDM)の取組と今後の計画を伺う (3) 多くのお年寄りから、バス・モノレール・タクシーの値段が上がって苦しいとの声をいただいている。今後の支援方策を問う (1) 本市の企業の多くは中小企業や個人事業主。物価高や消費税やインボイスをはじめとする重たい税負担に苦しんでいる企業が多い。本市の見解を伺う (2) 中小企業を守る事は市民の暮らしを守る事に繋がる。本市の中小企業支援の内容と、今後の計画を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 教育政策について	給付型奨学金の支給の現状と、今後の在り方についての見解を問う
		5 選挙公報について	告示日に各候補が掲示板に選挙ポスターを貼るのをやめてデジタルサイネージ化できないか伺う
		6 人権政策について	本市は多くの外国人観光客が訪れる。沖縄県では「差別のない社会づくり条例」を制定しているが、罰則規定がないなど実効性を疑問視する声もある。日本全国で外国人に対するデマやヘイトが横行しているが、今後、外国人や性的少数者などが安心して過ごせるよう、どのようにあらゆる差別のない那覇市を作っていくか市長の見解と今後の方策を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、選挙管理委員長、関係部長

一般質問（４日目） 令和７年９月１８日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	瀬名波 奎 (うない・にぬふあ)	1 教育行政について	(1) スポーツの県外派遣事業の今後の拡充について伺う (2) 学校給食の栄養価不足に対しての対応について伺う (3) 給食センター内の空調設備について伺う
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 保育行政について	こども園の園舎建替えについて直近の事業スケジュールを伺う
		3 子育て行政について	現在本市が行っている支援が必要な妊産婦に対するベビーミルクやおむつの支援について伺う
		4 那覇ハーリーについて	会場移設に係る費用について伺う
		5 福祉行政について	那覇市社会福祉協議会における法人運営に係る補助金について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和７年９月１８日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	古 堅 茂 治 (日本共産党)	1 図書館の充 実について	(1) 図書館は、市民の「知る権利」を保障し、 学習を支えることで人々が幸せに暮らすこ とを支援する役割を担っている。那覇市立図 書館の市民一人あたりの蔵書冊数、貸出冊数 と沖縄県・全国平均との比較等を問う
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	2 「琉球歴史 文化の日」の 取組と文化の 継承・創造・ 振興等につい て	沖縄の先人たちは、長い歴史の中で、祖先への 敬い、自然への畏敬の念、他者の痛みに寄り添う チムグクルを育むとともに、古来、アジア諸国と の交易を通じて多様な文化を受け入れ、組踊を始 めとする芸能や漆器などの工芸、琉球料理や泡盛 などの食文化、空手や染物など、多岐にわたり洗 練された独自の多様な伝統文化を創り上げてき た。そして、これらの文化を支えに、幾多の世変 わりの中にあっても、その都度困難を克服してき た（琉球歴史文化の日条例）。そこで、沖縄県は、 先人たちが創り上げてきた沖縄の歴史と文化へ の理解を深め、故郷（ふるさと）への誇りや愛着を 感じられる地域社会の形成に取り組むとともに、 新たな歴史と文化を県民自らの手で創造してい くことを決意するものとして、11月1日を琉球 歴史文化の日とする「琉球歴史文化の日条例」を 2021年3月31日に制定した。「琉球歴史文化の 日」の浦添市と本市の取組の比較を問う
		3 まなびクー ポンの拡充に ついて	まなびクーポンの活用状況及び効果を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 本市議会の元議長らが絡む贈収賄事件・政治とカネの問題について	(1) 参院選挙での自民党大敗は裏金、不記載、金権腐敗、政治と金を巡る不祥事も要因のひとつと自民党も認めている。那覇市有地の所有権争いを巡り、所有権を一方的に主張する関係者から、知念市長の政治団体の会長と選対本部長を務めた元議長（自民党籍）が2020年12月から2021年2月、現金5,000万円を受け取ったとして収賄容疑で逮捕・起訴され、関係者も贈賄容疑で逮捕・起訴されて公判が行われている。元議長に賄賂を渡した贈賄側は、所有権移転が実現すれば土地の転売で100億円の利益を見込み、議会工作を依頼したと述べている。この贈収賄事件、元議長が議長室で現金4,500万円を受け取ったのが2021年2月8日、その9日後の2月17日に那覇市議会2月定例会の自民党の代表質問で「(所有権を主張するA氏に対しての)重大な権利侵害が起きているという疑義が生じている」と指摘して事実上、贈収賄の側に立った主張を展開し追及した一人が、当時の奥間亮市会議員である。2023年10月14日付・沖縄タイムスは、「(元議長が)『議会で追及してもらおう見返りとして市議3人に百万円単位の現金を渡した』と実名を挙げて証言した」と報道した。この件に関しては、7月12日の「しんぶん赤旗」も報道している。元議長が議会工作費の賄賂を受け取った9日後に自民党会派の代表質問で市有地の所有権争いを巡って追及した奥間前市議と別の定例会の質問で同様の追及をした議員は、疑念を持つ市民への説明責任を果たすべきである。去った参院選挙で、「私が一番信頼しているのが奥間亮だ」と公言した知念市長の見解を問う (2) 昨年2月、私が不記載を指摘したことを機に、自民党のおくま亮後援会は2021年政治資金収支報告書に記載した殆ど40箇所を訂正や追記をしている。2025年7月3日付「しんぶん赤旗」は、県選挙管理委員会に元議長が代表を務める自民党那覇支部への「おくま亮後援会」と「奥間亮」の領収書が二重に発

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 那覇市の土地 地区画整理事業 の違法行為 の是正について	行され提出されている事実を領収書の写しをつけて報道している。元警察官・奥間前市議と後援会の著しいずさんな政治資金収支の報告、管理状況について、去った参院選挙で、「私が一番信頼しているのが奥間亮だ」と公言している知念市長の見解を問う (1) 都市建設環境常任委員会は、土地地区画整理事業を考える会代表の砂川敦氏から 2021 年 12 月 16 日に提出された陳情第 42 号、「土地地区画整理事業に係る地方自治法第 100 条第 1 項等調査委員会の設置について」の審査を、陳情者本人の意見聴取、所管課まちなみ整備課と建築指導課の意見聴取、元那覇市職員で区画整理実務担当 2 人の参考人意見聴取、現場調査、国土交通省市街地整備課の意見聴取などを 4 年間もかけて行い、同陳情に係る「土地地区画整理事業の所管事務調査結果報告」を採択した。同報告は、1. 調査方法。2. 判断基準—①陳情者の意見、②まちなみ共創部長、副部長、課長の答弁。③元那覇市区画整理担当者参考人の証言。3. 各争点の調査結果—①区画整理で設置される道路以外の宅地擁壁に建築基準法は適用されるか。②区画整理事業で宅地擁壁と道路擁壁は同じであるか。③H 鋼を主要部材とする自立型擁壁は区画整理宅地擁壁としては建築基準法違反の擁壁であるか。④区画整理事業で既存石積み擁壁不適格擁壁を放置して良いか。⑤石積み擁壁が放置された箇所は興南学園含め 4 箇所ある。どうなるのか。⑥興南学園の石積不適格擁壁に隣接する宅地は道路面より高く生活に支障がある。このような宅地整備は区画整理事業として問題はないか。⑦換地清算金について。⑧既存石積み擁壁を放置した根拠となる区画整理法第 77 条の解釈について。⑨違法換地処分事件の判決書は那覇市が造成工事をするとならば違法になるのか。⑩区画整理実施計画書について。⑪第三者検証委員会の設置について。4. おわりに。—とまとめ、結論として、「本委員会は行政法の大学教授、

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		6 米軍基地問題について	弁護士等専門的知見を有する第三者検証委員会を設置し検証することを強く求める」となっている。同時に 100 条委員会の設置を求めた陳情は、全会一致で採択すべきものと決定した。そして、7 月 25 日に都市建設環境常任委員会の正副委員長が議長に陳情採択と同陳情の「調査報告」を手交した。この都市建設環境常任委員会の意志に対する市長の見解を問う (2) 都市建設環境常任委員会の「調査報告」で明らかになった那覇市の不法・不当・不適正・不適切な対応・措置は、行政として許されないあるまじき行為と考える。監査委員が監査すべき重大な事案ではないか見解を問う P F A S 汚染の問題で声を上げた女性を取り上げた映画「ウナイ透明な闇 P F A S 汚染に立ち向かう」が好評上映中である。米連邦議会下院軍事委員会で 7 月に可決された国防権限法案の付帯報告書に、沖縄に関する記述が盛り込まれた。米軍人の性暴力と有機フッ素化合物 (P F A S) に懸念を示し、米政府に説明を求めている。さらに、米国防総省の監察当局が、日本人に対する性暴力事件について在日米軍の調査を開始した。玉城デニー知事は、「訪米活動やワシントン駐在が連邦議会議員に粘り強く訴えてきたことが反映された」と強調している。9 月 10 日付・「琉球新報」社説は、「歴代沖縄県政が展開してきた「対米外交」の成果と言えるだろう。(中略) 知事の訪米活動を支えるワシントン事務所は必要だ。県民、県議会の支持を得て早期に再設置すべきである。」と主張している。的を射た指摘である。見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、代表監査委員、関係部長

一般質問（４日目） 令和７年９月１８日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	上 地 貴 大 (公 明 党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 道路行政について	(1) 都市計画道路古波蔵上線並びに楚辺線の進捗状況と事業スケジュールについて伺う (2) 県道 222 号線の拡幅事業の進捗について伺う (3) 県道 222 号線に接続する樋川市営住宅前の一方通行にて逆走車が多いと聞いているが本市の対応を伺う
		2 社会福祉協議会について	本市社会福祉協議会における 20 代から 30 代職員の離職者数及び推移について伺う
		3 市営住宅について	現在、市営住宅の入居において、障がいのある方や高齢者、ひとり親世帯などに対する優先入居の枠はどのようになっているか伺う
		4 こども家庭センターなはについて	こども家庭センターなはが設置され 2 年目に入っているが、現状と課題について伺う
		5 公園行政について	(1) 城岳公園の整備の進捗状況を伺う (2) パーク P F I 事業にて 9 月 1 日より供用が開始した漫湖公園について、公園全体の魅力向上にどのように貢献しているか伺う (3) 漫湖公園の今後の整備計画等について伺う
		6 学校施設・設備について	小中学校の学校施設及び設備の、修繕・改修の相談があった場合の対応について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和７年９月１８日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	前 泊 美 紀 (無 所 属) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 犯罪被害者等支援について 2 性の多様性の尊重について 3 行政運営について 4 安全・安心なまちづくりについて 5 若い世代の政治参加について	(1) 犯罪被害者等支援への実効性のある支援と条例制定について、本市の取組の進捗と見解を問う (2) 警察庁は、犯罪被害者が自身の被害内容や、行政などとのやり取りの状況を記録することができる「被害者手帳」を全国で導入するため、各位の警察に実施モデルを示す方針を固めた 「被害者手帳」の意義と本市の取組を問う 「那覇市性の多様性を尊重する条例（案）」について、概要と進捗、理念条例とする理由を問う 第 15 次地方分権一括法の概要と本市の対応、市民生活への影響を問う 今年 1 月に埼玉県八潮市で発生した大規模な道路陥没事故を踏まえた地下占用物連絡会議において報告された令和 6 年度の点検実施状況の概要と那覇市域の状況、市の取組について問う (1) 去る 7 月 20 日執行の参議院議員選挙及び那覇市議会議員選挙における 10 代、20 代の投票率と、近年の推移との比較分析について問う (2) 本市での、大学構内における期日前投票の実施状況と、その評価、課題について問う (3) 進学、就職などで市外・県外へ転出する 18 歳有権者への選挙権の保障と周知等について、問い合わせなどの現状と市の取組等について問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、上下水道事業管理者、選挙管理委員長、関係部長

一般質問（４日目） 令和７年９月１８日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	いずみ ティファニー (れいわ那覇ぬちぐる)	1 少子化について 2 放課後児童クラブについて 3 病児保育について	現在、日本全体で少子化が大きな社会問題となっており、ここ那覇市においても出生数の減少が深刻な課題となっている。その要因の一つには、子供を産みたい、育てたいと願う世帯が、経済的不安や保育・教育環境への不安、さらには地域のつながりの希薄さなどさまざまな困難に直面している現状があると考え 子育てが喜びとして実感出来る社会の実現こそが那覇市の持続可能な発展にもつながると考える 市長は、子供を産みたい、育てたいと思える那覇市とは具体的にどのような姿であると認識されているか また、その実現にむけての见解を伺う 共働き世帯やひとり親世帯の増加により、放課後児童クラブの役割はますます重要になっている しかしながら、現状では利用料や利用時間に関していくつかの課題が見受けられる そこで伺う (1) 放課後児童クラブ利用料軽減事業の概要と、これらの制度を見直すなどをして、保護者の実質的な負担額を一定に近づける取組を行う考えはあるか (2) 学童利用時間について、延長利用が必要な家庭が増えている現状をふまえ、開所前や閉所後の時間延長を行う考えはあるか 子供が急な病気になった際に利用できる病児保育は、保護者が安心して働き続けるために非常に重要な役割を果たしている。そこで以下伺う (1) 病児保育の利用料について、子育て世帯の負担軽減に向けたさらなる支援策を検討しているか (2) 現在、病児保育を提供している施設は限られており、地域によって利用のしやすさに格差があるとの声もある。施設数の増加や地域

質問方式

総括質問方式
(質問席のみ)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			バランスの改善に向けた取組を行っているか (3) 病児保育は急な利用が多い一方で、予約が取りにくいという声もある。利用のしやすさを向上させる施策は検討されているか
		4 紙おむつ、ミルクの支援について	子育て世帯にとって、乳児期の紙おむつや粉ミルク代は毎月大きな負担である。特に物価高騰の中、紙おむつは月に 5,000 円、粉ミルクも同程度かかり、家計を圧迫している さらに、産休・育休中は収入減や退職により家計が厳しくなる そこで以下伺う (1) 昨年、県が実施した紙おむつ・粉ミルク購入クーポン制度について、那覇市はどのように周知・申請支援を行っていたのか (2) 那覇市独自に子育て世帯の経済的負担をより直接的かつ継続的に軽減するため、県制度に加え、市独自の購入助成制度を導入する考えはあるか
		5 児童手当について	現在児童手当は世帯の収入が高いほうの所得を基準に判定するとされている そこで以下伺う (1) そもそも、なぜ児童手当が収入の高いほうに支給されるという制度になっているが、どのように理解しているか (2) 主に子育てを担っている保護者に手当が届かず、困っている方々の実態についてどのように把握しているのか
			【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和７年９月１８日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	仲 田 奨 司 (無所属クラブ)	1 「まなびクーポン」の拡 充について	(1) 「まなびクーポン事業」は、家庭の経済的 理由で学校外教育が受けられない子どもた ちに対し、学習塾代等を助成している。同事 業の対象者をさらに広げ、またスポーツや部 活動等にかかる月謝や費用にも活用できる よう拡充すべきである。見解を問う (2) 本市は部活動の地域展開が進まない中、市 内のスポーツ団体やクラブチームとの連携 体制の進捗は現在どのようになっているか。 また、クーポン導入の受け皿となる体制づく りの課題を問う (3) 仮に導入するとした場合、子育て世代や経 済的困難を抱える家庭に重点を置いた制度 設計は可能か、本市の考えを問う
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 子育て支援 について	(1) こども医療費無償化を高校卒業まで拡充 すべきである。石垣市や名護市でも実施され ており、那覇市でも実施すべきである。見解 を問う (2) 現状の不登校児童・生徒の数とその推移を どのように把握しており、本市として、子ど もたちが孤立せず学びの機会を保障するた め、どのような支援体制を整えているのか 問う (3) 特に学校外での学びの場、フリースクール や地域との連携支援をどのように位置づけ ているか。本市の考えを問う
		3 経済観光行 政について	(1) 中小企業・小規模企業者・個人事業主・フ リーランスに対する支援をさらに促進すべ きである。那覇市独自の支援事業の現状を 問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 公園行政について	(2) 観光関連産業に対する支援をさらに推進すべきである。アフターコロナにおける観光業の回復に向け、那覇市独自の事業として実施していることは何か問う (1) 新都心公園のサッカー場の道路側、公園側のフェンスの高さは何メートルあるか問う (2) 仮にけが人が出た場合の責任の所在と本市の対応について見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和７年９月１８日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	清 水 マ オ (立憲民主・社民・ニライ)	1 介護福祉行政について	(1) 不登校などの子どもについて、健康診断の受診状況を伺う (2) 那覇市は介護保険に関するアンケートで、介護保険サービス提供体制持続に対し、ある程度危機感があると回答している その主な要因は、保険料や公費の負担が上昇していくこと、制度の支え手が不足することと回答している そのための検討や施策として、国の公費負担の割合の引き上げ、介護職員賃上げによる人材確保を挙げ、自公政権による訪問介護報酬の引き下げに対しては理解できないと回答している 立憲民主党は、他産業の賃上げ率からも自公政権の処遇改善策では全く不十分とし、以下の事項を要請している 2026 年４月に介護報酬、障害福祉サービス等報酬の期中改定を行い、介護・障がい福祉従事者の処遇改善、介護・障がい福祉事業所の経営の安定のため、それぞれの報酬を引き上げること。上乗せ措置として、全ての介護・障がい福祉事業所で働く全ての職員に対し、月額１万円以上の処遇改善を行うこと。介護・障がい福祉事業所が最低賃金の引き上げ等に対応できるよう支援すること。訪問介護については速やかに訪問介護事業支援金を支給するとともに、2026 年４月に期中改定で基本報酬を引き上げること。介護・障がい福祉従事者の賃金を全産業平均の水準へ引き上げる方策を検討すること 那覇市はこれら要請に賛同するものか伺う
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 環境行政について	(1) 代表質問の脱炭素とも関連し、2023 年３月に策定された「那覇市自転車活用推進計画」によると自転車走行の妨げになる駐車車両対策について、「本市では令和元年度(2019 年度)・令和２年度(2020 年度)に、渋滞緩和や通りの魅力度向上を目的に、共同配送システムを導入し荷捌き車両数の流入を減らす『国際通り荷捌き車両対策実証実験』を行い

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 上下水道について	ました。同時に違法駐車を取り締まりも強化しており、これらの取り組みにより渋滞緩和だけではなく、自転車の安全な走行環境の確保につながることも期待されます。」と明記している 実際には期待通りには進まず、配送車両やレンタカーなどによる違法駐車は増大しているとの市民意見もある 解決策として「路外駐車場や荷捌き用駐車スペースの整備推進」としている那覇市の取組の現状を伺う (2) 国際通りに設置されている沖縄県のマークの入った花壇が、ごみを集積している現状がある 地域からも不要との声がある中で、那覇市の認識を伺う (3) 那覇市はかつて観光イメージアップ事業として、ガム除去美化を実施している 松山若狭線について、歩道の修繕や同様の取組が急務であると考えるが、那覇市の取組を伺う (4) なは一と周辺の路上で、イベントの合間などに多くの方が喫煙をしているにも関わらず、喫煙所を設置しない理由を伺う 沖縄振興公共投資交付金に係る予算減額の影響事例として、公共下水道事業があげられている 沖縄県の要望額に対し、3分の1から半額程度の予算で推移しており、老朽化対策などの遅れが懸念されている 自公政権が予算措置をしない現状に対し、那覇市はどう対応しているのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 行政改革について	(1) 内密出産に対する検討の進捗を伺う (2) 那覇市のHPに掲載する情報の保存ルールについて、進捗を伺う (3) 公園予定地について、一旦広場などの形で開放や利用が出来ないのか伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長

一般質問（４日目） 令和７年９月１８日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	上 原 ゆいな (なは自民・無所属の会)	1 教育行政について	(1) 教員の働き方改革による役割分担の明確化と保護者の認識について伺う (2) 精神疾患を持つ児童生徒への対応について伺う (3) 様々な理由で学校へ通えない児童生徒の学びの場について伺う (4) 学校でのフッ素うがい導入について伺う
		2 保育行政について	兄弟での保育園入園について伺う
		3 地域社会における公平性について	自衛隊・公務員に対する反対運動への対応ルールについて伺う
		4 選挙制度について	選挙時のポスター掲示責任者の個人情報について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、選挙管理委員長、関係部長